

# 新理事長 就任のご挨拶

理事長 小松 史



このたび、医療法人薫光会小松整形外科医院の理事長に就任いたしました小松史です。

当院は平成元年(1989年)3月、「整形外科専門診療所として、地域に貢献します」という理念のもと、父である前理事長が開設いたしました。開院以来30年以上にわたり、地域のみなさまに温かく支えられながら診療を続けてこられたことに、心より感謝申し上げます。

令和6年度には423件の手術を行い、整形外科に特化した有床診療所として、外来のみならず入院・手術も含めた一貫した医療体制を提供してまいりました。有床診療所であることの強みは、必要に応じて入院しながら、集中的な治療やリハビリを受けられる点にあります。こうした体制があることで、急性期から回復期にわたる継続的な医療が可能となり、地域医療の中で重要な役割を果たしていると実感しております。今後もこの機能を維持し、さらにその利点を最大限に発揮していきたいと考えております。

理事長としてこれまでの歴史と理念をしっかりと受け継ぎながら、新しい時代のニーズに応えられる診療体制を整えていく責任を強く感じております。「ここに来てよかった」と思っただけのような医療を提供し続けること。そして、安心して治療・リハビリを受けられる場所であり続けることが、私たちの使命です。

その実現のためには、何よりも共に働くスタッフの存在が欠かせません。私はスタッフが誇りとやりがいを持って働ける職場環境を整えることが、より良い医療の提供につながると信じております。働く人が笑顔であることが、患者さんにとっても安心につながると確信しています。

このような考えのもと、2025年10月より、当院の診療体制を一部見直すことといたしました。

まず、水曜日の診療についてですが、これまで午前診療を行っていましたが、今後は終日休診とさせていただきます。この変更は、職員がより柔軟に休日を取得できるようにすることで、ワークライフバランスの向上、離職の防止、採用力の強化といった「働き方改革」の観点から導入するものです。医療の質を維持しつつ、スタッフがいきいきと働ける環境を整えることで、今後も安定的に地域医療を支えていける体制づくりを目指しています。みなさまにはご不便をおかけしますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

また、約30年にわたり脊椎疾患・股関節疾患を中心に手術と診療に携わってこられた中島医師は、今後は非常勤医師として外来診療に専念されることとなりました。水曜日は休診日となりますが、火曜日と金曜日にはこれまで通り外来診療を担当していただきます。なお、手術が必要な症例につきましては、信頼のおける近隣の医療機関と連携し、責任を持ってご紹介いたしますので、どうぞご安心ください。

加えて、通所リハビリテーション施設につきましては、このたび閉鎖することといたしました。長年にわたってご利用いただき、本当にありがとうございました。今後はそのスペースをリハビリテーション室として再活用し、より充実したリハビリ環境を整えてまいります。従来のリハビリ室は手狭で、歩行訓練などは廊下を使って行うこともありましたが、今後はより広々とした空間で快適にリハビリに取り組んでいただけるようになります。新たな機器も導入し、これまで以上に質の高いリハビリテーションの提供を目指してまいります。

今後はこれまでの診療の質を高めるとともに、新しい取り組みにも積極的に挑戦し、「小松整形外科があっただけよかった」と思っただけの存在を目指してまいります。地域のみなさまの健康と安心のために、スタッフ一同全力を尽くす所存です。どうぞこれからも温かいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

# 新院長 就任のご挨拶

院長 星 忠行



## 【当院の方針】

当院は、前理事長・小松満先生が平成元年にこの津田の地で開院して以来、37年目を迎えました。このたび令和7年10月1日より、前院長・中島宏先生の後を引き継ぎ、院長を務めさせていただくことになりました。

当院は入院ベッド19床を備えた有床診療所として、これまで同様、急性疾患や手術が必要な疾患にも積極的に対応し、一般型の医療機関としての役割を果たしてまいります。

一方で、整形外科単科のクリニックである以上、対応できる範囲には限界があります。そのため、近隣の総合病院との連携は欠かせません。患者さんにとって最善の医療を提供するため、大病院とは異なる“小回りの利くクリニック”としての強みを生かしつつ、必要に応じて速やかに総合病院にご紹介する体制を大切にしています。

また、整形外科の中でも専門性を重視し、各分野の専門医による手術治療も積極的に行っています。今後とも地域の皆様に信頼いただける医療を目指し、スタッフ一同力を尽くしてまいります。

## 【私見】

私は弘前大学整形外科学教室の出身で、前理事長・小松満先生はいわゆる医局の先輩にあたります。昭和58年に医師になった1年目からご指導いただき、平成16年に当院へ赴任して以来、副院長として主に膝関節の疾患を中心に診療を続け、今年で21年目となります。

現在68歳で、一般的には定年退職の年齢ですが、引き続き小松整形で働かせていただき、このたび、院長職を仰せつかりました。身の引き締まる思いです。

私は同じ年に生まれた二人の人物を勝手に「心の支え」にしています。一人はサザンオールスターズの桑田佳祐さん、もう一人は元サッカー日本代表監督の岡田武史さんです(顔が少し似ていると言われることもあります)。お二人が元気に活躍している間は、自分も頑張ろうとモチベーションを保っています。

働き方改革の影響もあり、当院も水曜日を完全休診日といたしました。患者さんにはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

これからは整形外科の中でも専門性が求められる時代です。当院では、特に肩関節、膝関節、足(足関節)を中心に、患者さんが満足できる治療を提供していきます。

医療機関の経営は厳しさを増しています。働き方改革は大切ですが、同時に他の病院との競争も避けられません。国から補助を受けられる公立病院と異なり、私たちのような民間クリニックは、普通のことを普通にやっているだけでは生き残れない時代です。だからこそ、専門性を磨き、地域に必要とされる医療を提供し続けたいと考えています。

# 新副院長 就任のご挨拶

副院長 増谷 守彦



皆さま、こんにちは。

このたび2025年10月より小松整形外科医院の副院長を拝命いたしました増谷守彦です。季節の移ろいとともに、私自身にも大きな転機が訪れたことをご報告させていただきます。

## ■ 9年目の節目に

思えば当院に入職した2016年4月からもう9年以上の月日が経ちました。それまで1991年から25年間、青森県を中心に整形外科専門医として病院勤務をしてきました。ひょんなことから弘前大学整形外科科学教室の先輩である当院の副院長だった星忠行先生のお誘いに乗って転勤してきました。

茨城県で暮らすのも初めて、クリニックで診療するのも初めて。着任当初は、右も左もわからず、ご迷惑をおかけしたことも多かったですが、地域の皆さまやスタッフのおかげで、ここまで楽しく、やりがいを持って働くことができました。

## ■ 日々の診療の中で

私は整形外科で扱う分野の中で肩関節と膝関節を専門として診療にあたっています。患者さんのなかには、左右両方の関節を悪くする方もお見かけします。片側の関節を手術して、しばらくしてから調子がいいから反対側も手術してほしいと希望されたときなどは大変光栄に感じ、医者の仕事をしていてやりがいを感じるととても嬉しい場面です。そうした日々の中での積み重ねが、私たちの原動力となっていると思います。

また近隣のクリニックをはじめ基幹病院の先生方には事ある毎に多大なるご協力をいただき、この場を借りて御礼申し上げます。今後もこれまで以上のお付き合いをさせていただけるようよろしくお願い致します。

## ■ 小松整形外科医院が「安心できる場所」に

近年、医療を取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。新しい治療やサービスも増え、情報もあふれていますが、どんな時も「困ったらまず小松に相談すれば大丈夫」と思っていただけるような安心感を大切にしたいと思っています。

もちろん医学的な課題解決は大前提ですが、それだけでなく、ちょっとした体調不良や心配ごと、暮らしの中で困ったことも、気兼ねなくご相談いただければ幸いです。

## ■ 副院長という新しい立場から

この9年間、色々な経験を積ませていただきましたが、副院長という新しい立場をいただき、身の引き締まる思いです。診療現場だけでなく、医院全体をより良くするための取り組みや、スタッフの働きやすさ・やりがい作りにも力を注ぎたいと思います。

正直なところ、まだまだ未熟な部分や学ぶべきこともたくさんあります。しかし、これまで地域の皆さんと一緒に歩んできた時間を大切に、より一層親しみやすく、頼っていただける医院を目指します。また、各専門職のスタッフの力を活かし、より多角的なサポートやサービスを充実させていく所存です。

## ■ 最後に

「小松整形外科医院は地域の皆さまのもの」。この想いを胸に、初心を忘れず、一人ひとりに寄り添った医療を追求してまいります。今後とも、どうぞ末永くよろしくお願い申し上げます。



# ベッド型マッサージ機 ウォーターベッドについて

リハビリ室 加藤 妙子

皆さんこんにちは。皆さんは、リハビリ室入口の正面に見るベッド型の機械を知っていますか？  
初めて来院される方などには、「あれは、なにか？」と、よく聞かれます。

今回は、当院でも人気のベッド型マッサージ機ウォーターベッドについて紹介させていただきます。

## 【特長】

\* ベッド面の下に水が入っており、ベッドの上に寝てみると水の上に浮いているようなフワフワした感じがします。そのまま、横になってリラックスした状態で全身のマッサージを受けられます。

\* 強さは、6段階。

1～5段階にturboをプラスした6段階あり、やわらかなマッサージから強めのマッサージまで患者様の状態に応じて強さが選べます。当院では、はじめての方は「4」に設定しています。

\* 7種類の手もみ技を再現。「さする」「こねる」「もむ」「おす」「たたく」「なでる」「のばす」の7種類のマッサージパターンを採用。ノズルの移動スピードを調整する「可変速ノズル制御機能」により、きめ細かいマッサージを再現し、リラクゼーションからダイナミックな刺激まで、幅広いマッサージが可能です。

## 【効能効果】

- ・ 広範囲のリラクゼーション
- ・ 血行促進
- ・ 筋肉のコリや痛みの緩和
- ・ 冷えやむくみの改善



症状によっては使用できない場合もありますので、医師にご相談の上、ご利用ください。